



コロナ禍における中毒による自殺企図患者の検討

2017年4月1日から2022年2月28日までに当院高度救命救急センターに搬送され、ICU（集中治療室）へ入院が必要となった自殺企図の中毒患者さん

研究協力をお願い

当科では「コロナ禍における中毒患者の検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2017年4月1日から2022年2月28日まで日本医科大学付属病院高度救命救急センターに、中毒による自殺企図で入院加療された患者さんを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：コロナ禍における中毒による自殺企図患者の検討

研究期間：研究実施許可日～2025年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 救命救急科 平野瞳子

(2) 研究の意義、目的について

本邦では自殺者数は年々減少傾向にありましたが、コロナ禍に入った2020年以降は自殺者数が増加傾向にあります。コロナ禍に入って以降、高度救命救急センターへ搬送される中毒患者さんを対象とした報告はありません。今回の研究でコロナ禍における中毒患者さんの特徴と傾向を明らかにし、救急の現場における中毒症例の特徴や治療における注意点を明らかにすることを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2017年4月1日から2022年2月28日までに日本医科大学付属病院高度救命救急センターにて、ICU（集中治療室）へ入院した中毒患者さんの内服薬などを解析し、中毒症例の特徴や傾向について、患者数や中毒の種類をグラフ化し、後方視的に検討します。コロナが流行し始めた2020年4月を区切りとし、2017年4月から2020年3月までをコロナ禍前、以降をコロナ禍後として比較研究をおこないます。自殺企図の判断は精神科医の面談によるものや患者本人から自殺を仄めかず言動があった場合に自殺企図症例と判断し、明らかな事故症例などは対象から除外しています。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、中毒種類、内服薬種類

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイドダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 救命救急科 助教・医員代理 平野瞳子

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：25628

メールアドレス：t-hirano@nms.ac.jp